補助事業番号 24-4-026

補 助 事 業 名 平成24年度(復興支援)被災者に対する生活支援活動 補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 ひたちNPOセンター・with you

1 補助事業の概要

(1)事業の目的

NPO、大学等の教育機関、企業、行政等とプラットフォームを形成し、以下の 三点を目的として実施した。

- ①原発事故による放射能問題で大きな不安を抱える、福島県いわき市の子ども達 や障がい児童およびその保護者を対象として、放射線量が低い茨城県県北地域 に招待し身体的・心的ケアを実施する。
- ②震災により、本来事業が行き詰まっているNPOの再生と協働の機会とする。
- ③大学、行政等と協働することでこの事業が地域の活性化につながるようにする。

(2)実施内容

http://www12.plala.or.jp/NPOWY/ (URL)

①支援プログラム (こども元気プロジェクト2012) の実施 第1グループ構成 (常磐大学、常磐短期大学、十文字学園女子大学)

ア、対象者: いわき市あざみ野幼稚園

イ、実施日: 平成 24 年 10 月 13 日、平成 24 年 11 月 24 日、平成 25 年 2 月 2 日ウ、場所: 常磐大学幼稚園奥日立きららの里常磐大学幼稚園エ、内容: 造形・運動遊び外遊びとバーベキュー音楽・運動遊びオ、全参加者: 7 9名7 8名5 3名





(第1グループ活動風景)

第2グループ構成(YKストレスケアオフィス、専門スタッフボランティア)

ア、対象者:いわき市のこパタ CLUB 他

イ、実施日: 平成 25 年 2 月 10 日、平成 25 年 2 月 23 日、平成 25 年 3 月 17 日 ウ、場所: 日立かみねプール キッザニア東京 日立かみねプール エ、内容: アクアリラクゼーション 就労体験 アクアリラクゼーション

才、全参加者: 36名 58名 40名





(第2グループ活動風景)

第3グループ構成(NPO法人ひたち親子の広場、茨城キリスト教大学)

ア、対象者: いわき市内の幼稚園、児童クラブ他

イ、実施日: 平成 24 年 11 月 17 日、平成 25 年 2 月 16 日、平成 25 年 3 月 16 日 ウ、場所: 日立かみすわ山荘 日立市かみね動物園 日立武道館他 エ、内容: 焼き芋作り他 スタンプラリーゲーム かえっこバザール オ、全参加者: 6 1 名 6 7名 約3 7 7名





(第3グループ活動風景)

②シンポジウムの開催

ア、日時: 平成 25 年 3 月 24 日 13 時 30 分~16 時 40 分

イ、場所:日立市女性センター

ウ、テーマ:東日本大震災後の2年を振り返って ~子ども達の 今~

エ、内容:活動概要報告・・安田尚道(ひたちNPOセンター代表理事)

いわき市の現状報告・・海老名悠希氏(YKストレスケアオフィス代表)

支援プログラム(こども元気プロジェクト2012)活動紹介

• • 鈴木範之氏(常磐短期大学助教)

• • 海老名悠希氏

・・中島美那子氏(茨城キリスト教講師)

・・小林令子氏 (NPO法人ひたち親子の広場)

フリートーキング

「テーマ:活動の効果、今後必要な取り組みについて」





(シンポジウム)

2 予想される事業実施効果

福島県いわき市内の親子は、震災以後の生活の中で放射能に対する不安は想像以上のものがあり、外遊びなどによるストレスの解消とリラックスの重要性が再認識された。特に、本年度は前年度の経験をもとに、継続的に支援するあざみ野幼稚園グループと軽度発達障がい療育グループ「のこパタCLUB」の家族に加え、支援プログラム実施の都度参加希望者の募集をかけ、新たな幼稚園や児童クラブを中心とする親子への支援も実施することができた。

シンポジウムにおいては、いわき市内の子ども達の置かれている現状から、継続性 を持った息の長い支援活動が今後とも必要となることが再確認でき、活動の意義と課 題が明らかになった。

3 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名:特定非営利活動法人 ひたち NPO センター・with you

(トクテイヒエイリカツドウホウジン ヒタチエヌピーオーセンター ウィズユー)

住 所:317-0072

茨城県日立市弁天町2丁目12番10号

代表者: 代表理事 安田 尚道(ヤスダ ナオミチ) 担当者名: 事務局長 田尻 英美子(タジリ エミコ)

電話番号 : 0294-22-6292(同FAX) E-mail : withyou@agate.plala.or.jp

URL : http://www12.plala.or.jp/NPOWY/